

第58回 優良公民館表彰の受賞について

1. 受賞公民館 平城公民館
2. 時 平成17年10月31日(月)
3. 場所 東海大学校友会館(霞ヶ関ビル33階)

4. 受賞理由

平成16年度から、文部科学省の、「子どもの居場所づくり事業」を、全国公民館連合より助成金を受け、平城公民館が取り組みを始めました。

目的としては、公民館を地域の子供たちが安全にのびのびと過ごせる場とし、子どもの個性を發揮し、心の豊かさを育てるとともに、地域活動への関心を深める。

また、地域、学校、家庭、公民館が相互に連携し、子ども達とのふれあいに、全ての大人が関わり、安全に過ごせるよう見守り、育てていく意識を高めるところがありました。

この取り組みを開始するにあたっては、地域住民(自治会)・地元小、中学校・平城公民館利用者(利用者連絡協議会)の皆さんの協力をいただきました。

事業は、大きく二つの事業から構成されており、

子ども放課後なんでも体験隊

子ども国際サロン

は、地元のみなさんや館利用者の協力を得て、茶道、お餅つきなどの体験を通じて、日本文化の良さを再発見しました。また、館敷地内に畑作りを行い、じゃがいもなどの作物を自分達の手で作りました。

は、家庭・学校・地域が連携して、交流することを大きな柱にホームステイをはじめ、国際交流プログラムとして、本物の舞踊や音楽の公演を本場の国から招聘し、体験してもらいました。(平成16年度はロシア舞踊、今年度はイタリア音楽とオペラ)

これらの事業と取り組みが評価され、この度の受賞となりました。

この助成事業の終了(平成18年度まで)後は、地元主導型の事業へと移行していく予定です。

最近の平城地区では、取り組みの成果により、子ども達から大人の人にも、自然に挨拶が出来るようになったと聞いています。

また、下校時には、公民館に必ず寄って帰る子ども達も多く、世代を超えた交流が賑やかに行われています。

5. 受賞に至る経過

平成13年3月1日に(財)奈良市生涯学習財団が設立され、公民館の運営を財団が担うこととなりました。

財団の職員採用については、特色ある職員の採用が条件となりました。

特技を持ち、その特技を公民館での主催事業に、講師として活躍したり、企画・指導が出来る

社会教育主事任用資格または、生涯学習に関する指導者養成コースの修了者以上の二点が採用の条件であり、生涯学習のエキスパートが奈良市の生涯学習事業に取り組むこととなりました。

市内24の地区公民館においては、地域密着型の活動を展開し、大型館では、全市または、奈良市の東西をそれぞれ統括的にエリア分けして、特色ある事業(講座)の取り組みを進めてきました。

今回の受賞は、財団職員の斬新な発想とバイタリティーが、地域住民の皆さんや、学校現場の力を借りて、大きな取り組みとなり、喜ばしい結果につながったものと考えます。

奈良市生涯学習財団

連絡先 0742 - 26 - 5600